

町工場が 取り組む 脱炭素への挑戦

2030年までに
完全脱炭素を目指して

日崎工業株式会社
代表取締役
三瓶 修

自己紹介

- 日崎工業株式会社 代表取締役 三瓶修
- 会社所在地：神奈川県川崎市川崎区大川町
- 各種サインを中心にイベント造作物などの製作を手掛けています
- ・ 1965年 福島県出身の両親から産まれた長男
- ・ 1980年 某都内私立工業高校入学
- ・ 1983年 高卒後大手バイク部品メーカーに就職
- ・ 1986年 退職後に突然無職に 趣味＝一人旅→車、バイク等
- ・ 1989年 日崎工業 入社
- ・ 2006年 代表取締役就任





世界放浪 3年間

施工例



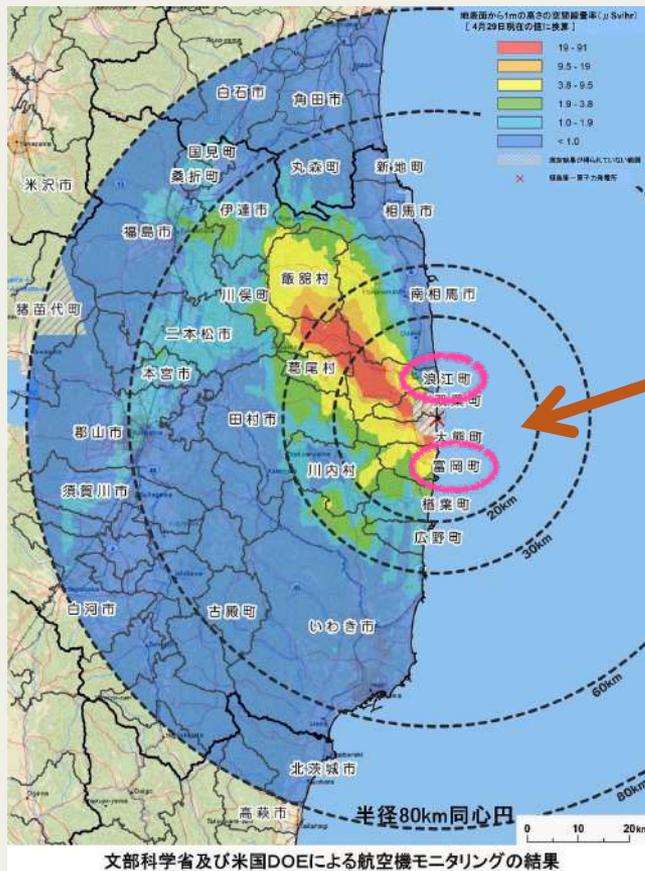
脱炭素化へのきっかけ

2011年3月

東日本大震災による原子力発電所事故

福島県第一原子力発電所

双葉町、大熊町、「富岡町、浪江町」



脱炭素への取り組みについて

省エネ化

- ☑ 全社LED化
- ☑ 屋根遮熱塗装
- ☑ 省エネ型加工機械の導入
- ☑ 電力見える化
- △ 働き方

再エネ導入

- ☑ 太陽光パネルの設置
- ☑ 蓄電池
- 電気自動車
- △ 非化石証書電力

☑ 完了 ○ 途中 △ 検討中

取り組み事例 省エネ化

全社LED化 工場 (2016)

- 水銀灯→LEDへ (54台)
- 導入費用：500万円
- 電力使用量：61,000kwh/年→43,000kwh/年 (30%削減)
- CO2排出量：31ton/年→22ton/年
- 年間電気代：110万円削減
- 工場内リース契約(5年)：毎年約96万円

※電気代1kwhあたり27円で計算



取り組み事例 省エネ化

全社LED化 事務所 (2019)

- 蛍光灯→LEDへ (約90本)
- 導入費用：50万円
- 電力使用量：9,000kwh/年→2,600kwh/年 (70%削減)
- CO2排出量：4.6ton/年→1.4ton/年
- 年間電気代：17万円削減



取り組み事例 省エネ化

屋根遮熱塗装 (2018)

- 工場内空調の節電と労働環境の改善を理由に設置
- スポットクーラーの出力と稼働時間が減った
- 導入費用：257万円
- 夏場の工場の温度：38℃→30℃



取り組み事例 省エネ化

省エネ型加工機械の導入 (2019～2020)

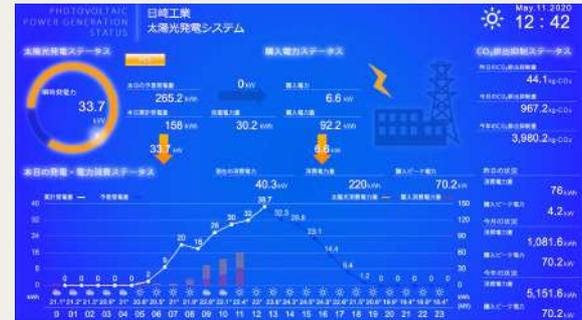
- 1台約9000万円×2台
- 消費電力約50%、加工スピード2倍
- 電力使用量：140,000kwh/年→70,000kwh/（50%削減）
- CO2排出量：71ton/年→35ton/年
- 年間電気代：60万円削減



取り組み事例 省エネ化

電力見える化 (2020)

- デマンド監視装置の情報からの電気使用量、CO2の削減量をリアルタイムで全従業員が各自の端末より確認できる
- 毎月の使用料を公開し、作業時間の運営にも活用



働き方

- 経営指針を毎年更新する上で社員への啓蒙活動にて、社員一人一人が会社、自宅、社会全体への省エネ取り組みへの参画を目指している

取り組み事例 再エネ導入

太陽光パネルの設置 (2020)

- 社屋屋根に設置
- 自家消費型50kwh (20年保証つき)
- 神奈川県の自家消費型太陽光発電補助金を使用し (330万円)、負担額670万円の費用で設置
- 発電量：40,000kwh/年
- 年間電気代：約80万円削減 (電気代20円/kwh×40,000)
- CO2排出量も抑制



取り組み事例 再エネ導入

電気自動車(2019～2020)

- HV、EVを導入
- 導入費用：1000万円
(内40万円はCEV補助金)
- CO2排出量：34ton/年→15ton/年 (55%削減)
- 年間ガソリン代60万円削減



取り組み事例 再エネ導入

蓄電池 (2021)

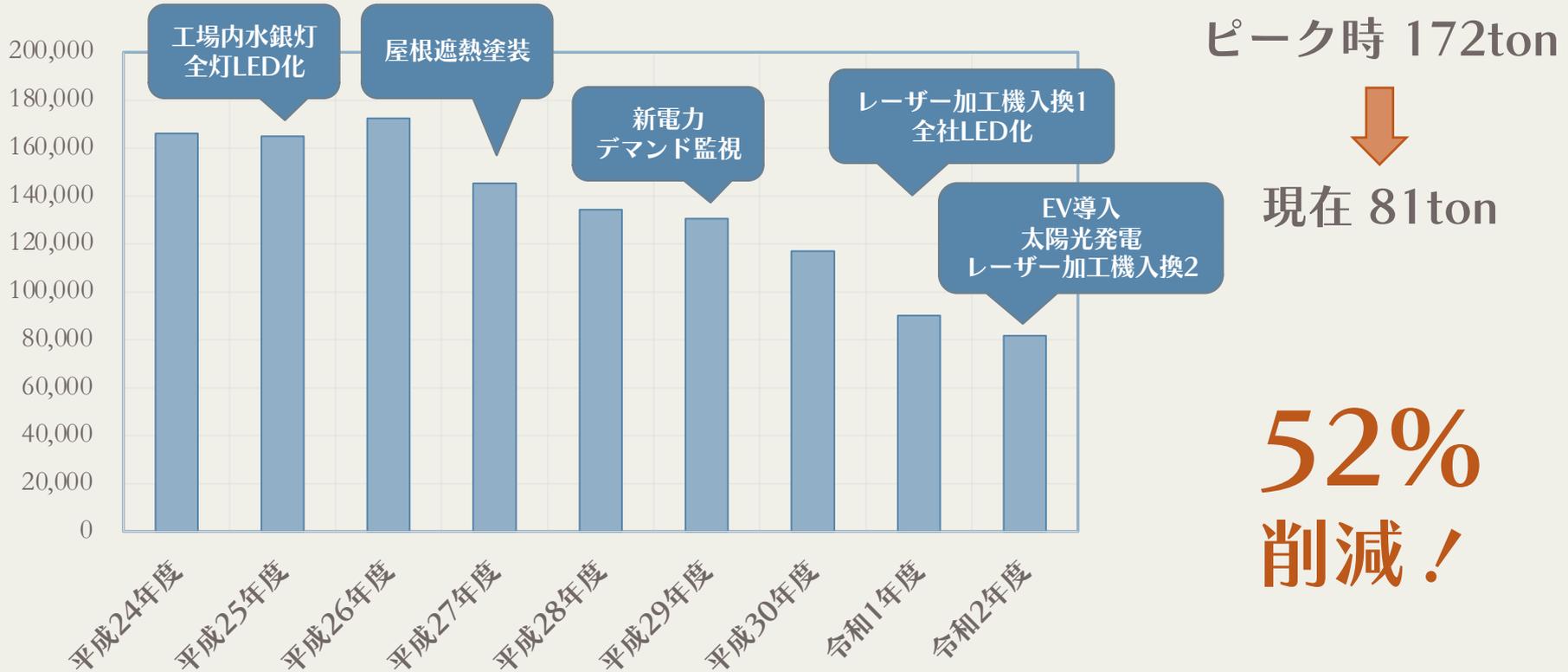
- 緊急時に対応できる (BCP対策)
- 13.5kwhの蓄電池を導入済 (未接続)



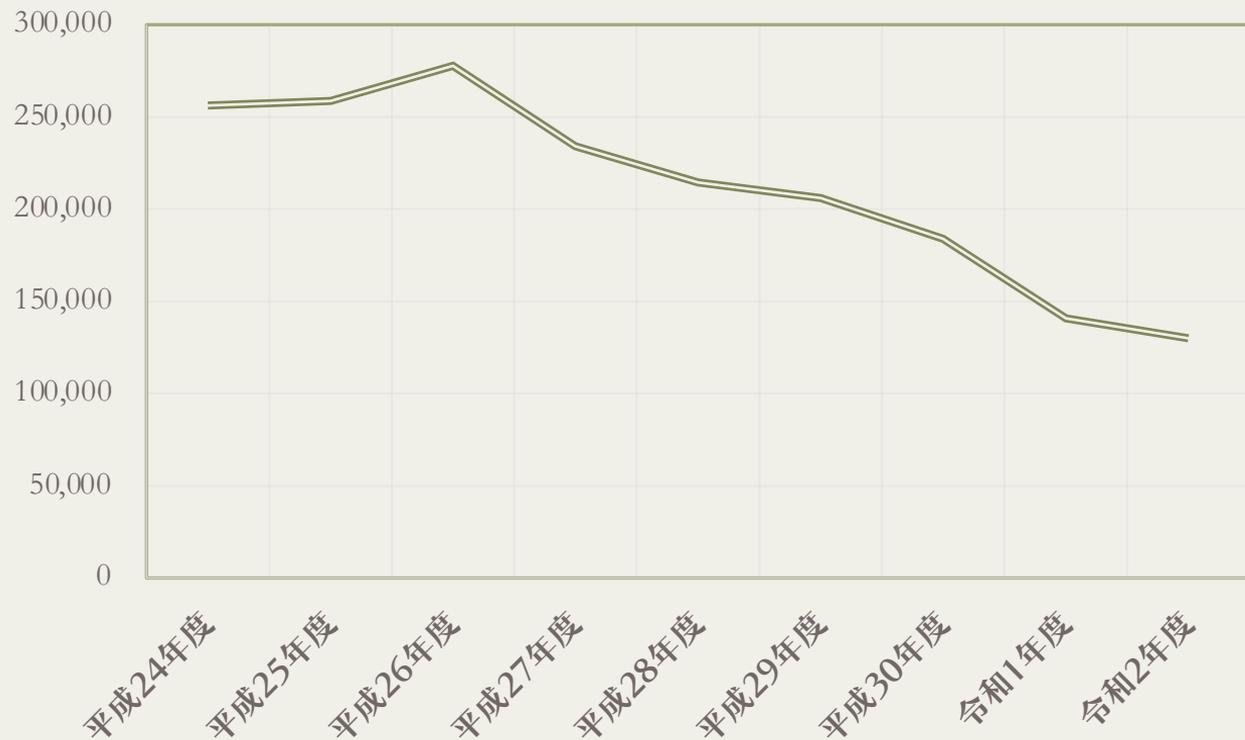
非化石証書電力

- 購入電力を再エネ100%にする為、電力の調達先を変更予定

年間CO2排出量の変化



年間電気購入量の変化



ピーク時278,000 kWh
(購入額：680万円)



現在130,000 kWh
(購入額：250万円)

54%
削減!

購入額63%削減!
(430万円削減)

今後の目標

SDGs



EX

エネルギートランスフォーメーション

エネルギー分野からの産業改革を目指す

私たちのミッション（経営指針2020より）
インフラにとらわれない

自由なライフスタイルを創りだす

私たちのビジョン

～2030年までに完全脱炭素を目指して～

脱炭素に向けた新規事業

トレーラーハウス



キッチンカー



アウトドアグッズ



現在、弊社の事業エネルギー約30%は再生可能エネルギー。

**2030年までに
100%再生エネルギーを
目指し、日々邁進して参ります！**

ご静聴ありがとうございました。